

第31号

平成18年
4月30日

題字
植木 満 名誉会長

東進

発行所

土浦一高東進会

茨城県立土浦一高
進修同窓会
東京支部

事務局 〒102-0093 東京都千代田区平河町2-7-5 砂防会館4階
宮崎法律事務所 TEL 03-3221-3711 FAX 03-3221-3713
ホームページ http://www.geocities.jp/t_toshinkai/index.html



桜まつりで賑わう土浦城址・亀城公園の櫓門 この門は昭和61年に解体修理
左袖部分の土塀と右側の東櫓まで続く土塀は平成17年4月に復元

平成18年度総会・懇親会は
6月10日(土) 学生会館で

今回の当番幹事は昭和49年卒の皆様です。企画ものとしては、母校女子生徒が多数活躍する吹奏楽部の演奏や応援指導部の演技と総会と懇親会の間には、大使などを歴任された塙 哲夫氏(昭28卒)による講演があり、懇親会においては、中国雑伎ショーも予定しております。
全体のスケジュールは次のとおりです。

- *****
- 11:00 受付開始
 - 12:00~ 吹奏楽部演奏・応援指導部演技
 - 12:45~ 総会
 - 13:10~ 講演 元大使 塙 哲夫氏
演題：どうする日本～対アジア外交と対米関係
 - 13:50~ 懇親会(中国雑伎ショーつき)
 - 16:00 懇親会終了(予定)
- *****

同窓の皆様、友人・知人をお誘い合せのうえ参加され、意義あるひとときを過ごされたく、ご案内もうしあげます。
なかでも当番幹事にあたる同窓生の多数参加を期待しております。

大野会長にインタビュー

担当 長戸琴副会長
酒井隆二理事

「東進」の前号では、総会で新たに選出された大野金一会長の紹介は、同じ頃掲載される予定だった「進修同窓会々報」の「卒業生レポート」に譲りましたが、同稿は在校生向けだったので、改めて、新会長の紹介を兼ねて、同窓会に込める思いについてインタビューをしました。



卒業生レポートを読ませていただきました。皆さん、結構読んでますね。あちこちに土浦一高卒業者がいるのに驚きました。東京地裁調停委員やゴルフ場の職員などから声をかけられました。」

経歴では、行政官を経て弁護士に、ハンドボール選手団とともにオリンピックや世界選手権に出かけたり、多彩な活動をされてきた。

「中学では野球と駅伝競争、その腕力と走力を生かして、大学では、今の福井日銀総裁の勧誘でハンドボール部に入り4年間みっちりやりました。東大ハンドボール部を修了してから法学部(留年)に入って司法試験を受けたようなものですね。(笑)」

ハンドボール協会の仕事も、弁護士会の仕事も、頼まれれば断れない性格で、結局「多彩なこと」をこなしてきたのでしょうかね。同窓会の仕事もそうですね。運動部で鍛えた体力もそれに貢献していますね。お陰で、まだ、大学OB戦や全日本マスターズハンドボールでは最高齢の「現役選手」です。(笑)」

オウムの破産事件ではテレビで何度かお顔を拝見しましたが、危険な経験をされたんですね。「オウム真理教の破産管財人常置代理人を引き受けた平成8年3月は、1年前の国松警察

庁長官狙撃事件がまだ解決していなかった当時で、長官は私の大学のクラスメイトでもあっただけに、1年くらいは本当に身の危険を感じていましたね。教団の都内の本部や上九一色村の施設跡地などを売却して、地下鉄サリンの被害者などに30%余の配当(賠償金)をし、今は、後継の教団が分割で支払いをしています。」

司法界は大きく変わろうとしているようですが。われわれも裁判員になるとか。

「そうです。第1に法曹人口、特に弁護士人口の飛躍的な増大であり、第2に裁判員制度の導入と裁判官任用制度の改革、第3は法科大学院の発足です。」

長い間5000〜8000名に抑えてきた司法試験合格者を、既に昨年は15000名になっていますが、法科大学院の卒業生が増えてくる5年後には30000名に、そして近い将来には一気に50000名に増やそうというものです。アメリカなどの規制緩和の要求や法科大学院の発足によるものです。

数年後には、抽選で選ばれた一般市民が裁判に参加する裁判員制度が発足します。従来最高裁判務総局が決めていたとして批判が多かった裁判官の選考を一般市民も参加して開かれたものにしてしようという改革とあいまって、従来の硬直化した職業裁判官の意識も徐々に変わりつつあります。」

東進会に対する抱負についてお伺いします。

「抱負というような大袈裟なものではなく、本来同窓会というものは、同窓の仲間が集まって楽しめる場を提供するものです。個人的には、小中学校から大学まで、わいわい楽しく参加してきましたが、ひとそれぞれ事情があるでしょうからね。特に、最近定年を迎える、いわゆる団塊の人たちは、社会での生存競争で同窓会どころではなかったこともあるでしょうし、昭和50年代以降の卒業生は、家庭重視や趣味の多様化などで宴会や同窓会を避ける風潮がありますね。ゲーム世代になる

と自己埋没型というのでしょうかね。

特に心配なのは、土浦一高の同窓会はこの先どうなってしまうのか、ということですね。東進会の会長は進修同窓会の副会長を兼ねますので、本部の役員会に出席していますが、若い会員の参加が非常に低調なことが本部でも問題とされています。数年前、東進会の学年幹事を頼もうと、本部の昭和40年卒以降の各回幹事の皆さんに電話したところ、卒業以来同窓会を開いたことがないというのが多かったですね。これは、水戸一高、日立一高の同窓会も同様、共通した悩みですね。

抱負といえば、昨年度の総会から、その時々話題についてそれに詳しい会員にショートスピーチをお願いしていますが、それを定着させていくこと、それと、今は本部の25周年記念が卒業後最初の行事なので同窓生のネットワークがない。東進会だけでも、卒業10年の行事を企画したいですね。それに、同窓会に対する関心を高めるためにも、温故知新の言葉通り、東京支部の創立以来の歴史を訪ねる企画を考えています。」

長時間どうもありがとうございます。

【大野金一会長略歴】

- 昭31・3 土浦一高卒業
- 昭31・4 東京大学入学
- 昭37・3 東京大学法学部卒業
- 昭37・4 自治省入省、山梨県統計課長
- 昭44・4 司法修習生
- 昭46・4 東京弁護士会登録
- 平1・4 東京弁護士会副会長
- 平7・4 関東弁護士会連合会副理事長
- 平9・4 日本弁護士連合会常務理事

他に、東京地方裁判所民事調停委員、日本ハンドボール協会専務理事、日本体育協会評議員、明日の茨城づくり東京懇話会委員、いばらき大使など

60・50・40・25周年 進修同窓会に多数参加 東進会 植木満 前会長には感謝状

去る4月9日(日)に行われた進修同窓会には各周年の卒業生が多数参加した。

60周年(昭和21・22年卒)は当日ホテルマロウド筑波で(50名)、50周年(昭和31年卒)は当日ホテルCANKOHで(130名)、40周年(昭和41年卒)と25周年(昭和56年卒)は前夜ホテルマロウドで(各138、120名)、それぞれ独自に同窓会を開催した。60周年、50周年は母校での総会・祝賀式にも全員が参列したが、40周年、25周年は、前夜祭だったので、当日午後からの総会・祝賀式の参列者はそれぞれ50名、30名にとどまった。

今回、50周年と40周年は、東進会の会員も多数参加した。

総会の最後に、退任された役員(植木副会長ほか2名)に長年の功績に対し感謝状が贈呈され、大野東進会会長が代理で受け取った。

読売ウィークリーが

「21世紀の高校像名門公立校編」の第一陣に

読売ウィークリーは元の「週刊読売」を高質紙の大型版にしたものであるが、その4月9日号に「21世紀の高校像名門公立校編」のトップバッターとして土浦一高を取り上げた。

「時代の変化や生徒一人ひとりの個性にきめ細かく対応し、トップレベルの地位を築く」として、村松校長のインタビューと進修同窓会幡谷会長のコメントを載せている。

応援広告には、東進会からは、平根健氏の「ダイワ工業株式会社」、東進会会長の「大野金一法律事務所」、池和田曉氏の「日本インサイテックノロジー株式会社」、飯塚哲哉氏の「ザインエンクトロニクス株式会社」、岡崎孝宣氏の「株式会社東京理工舎」が多額の広告料で協力している。

茨城県人会連合会賀詞交歓会参加の記

東進会常任顧問 渡邊光夫
二月八日赤坂プリンスホテル五色の間に橋本知事をはじめ茨城県関係者約五百名が参集し盛大に賀詞交歓会が開催されました。我が土浦一高東進会からは大野会長をはじめ宮崎事務局長、長戸琴副会長、池沢卓、酒井学雄、特に旧制中学第四十五回生は喜寿を記念して法務省出身の大塚保、関東ヨット協会副会長大津一郎、全日本パン協同組合専務理事狩谷孝雄、茨城あるこう会名誉会長栗山光夫、福粋会長篠田康茨城いすゞ自動車会長豊崎寛、日本オペレッタ協会監事山口進、日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会常任顧問渡邊光夫の十三名が参加。政界から衆参両院議員、市町村長、官界から国土交通省、総務省、経済産業省厚生労働省、内閣府勤務の県人、財界からは茨城県経済人倶楽部の面々。板橋区、新宿区、江戸川区、葛飾区、北区、墨田区の茨城県人会の皆様、また麻生高校、太田一高、下妻一高、那珂湊一高、真壁高校、水戸一高、水海道一高と我々土浦一高の在京同窓会から六十八名が参加して賀詞交歓致しました。我々の心の支えは故郷茨城県であり故郷の人々であり、土浦一高で共に学んだ友人であろうと思います。

来年度の賀詞交歓会に出席を希望する会員は事務局まで申し出ておいて下されば案内状を差し上げます。尚下記に当日の写真、県民の歌、心に宿る故郷など望郷の歌等を紹介いたします。



茨城県民の歌 第一節
空には筑波の白い雲
野にはみどりをつつす水
美しい大地にうまれ
明るく生きるよるこびが
あすの希望をまねくのだ
いばらき いばらき
われらの茨城

男体女心に宿る故郷 第二節
我が今ながかすむ夕映に
我が老いたりはおぼろげに
遠い想ひ出指折りて
遠い想ひ出指折りて

他郷にありて夢見し故郷の風景
わが想ひ七色の虹が空に飛ぶ
わが想ひ七色の虹が空に飛ぶ

4月の謳粋会は土浦・霞月楼で

謳粋会は、平成12年9月の第1回会同以来、毎年4月は郷里で開催、あわせて母校訪問なども実施、ここ数年は土浦の由緒ある霞月楼で開催するのが恒例となっております。前号で報告後も、篠田会長(中45回)を中心とする謳粋会は毎月活動、その開催実績は次のとおりであります。

- 第87回 平17・11・10(木) 参加者20名
浅草・川風 下町懐石
- 第88回 平17・12・8(木) 参加者25名
上野・がんこ本店 ふぐ鍋コース
- 第89回 平18・1・12(木) 参加者21名
帝国ホテル・サール インペリアル
バイキング
- 第90回 平18・2・9(木) 参加者22名
白山上・松下 日本料理



第90回「松下」での謳粋会に参加された皆様

- 第91回 平18・3・9(木) 参加者16名
浅草・四萬六千日 薩摩黒豚しゃぶ
(日本酒仕立て)
- 第92回 平18・4・8(土) 参加者25名
土浦・霞月楼 日本料理



第92回「霞月楼」での謳粋会に参加された皆様

第94回6月の例会は、牛久の「たんぼぼ」を訪ね、謳粋会の発会より大変お世話になった坂本さんの「玉淀」の懐かしい味を賞味したいと思っております。なお当日はキリンビールの取手工場やワークショップ江川の見学も予定しております。

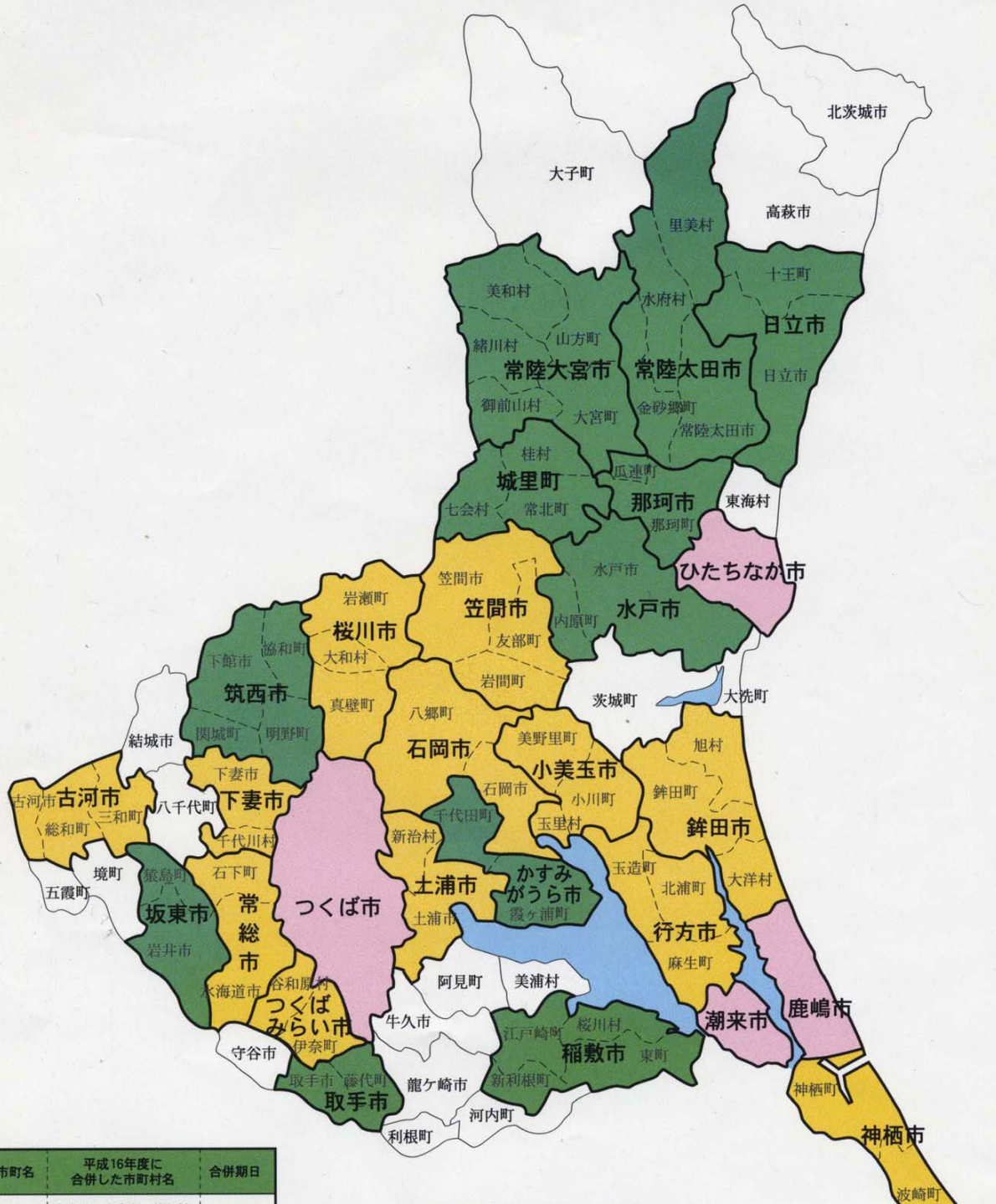
さらに12月には100回を迎えるので、これを記念して、会長の毎回の力作である「謳粋会の記」全部を収録する印刷物やCDを作成しようとする動きもあります。

門戸が広く毎月開催の謳粋会に多くの皆様方が参加され、交友を深められることを期待しております。

連絡先 大野法律事務所
TEL 03.3556.9787
FAX 03.3556.9788

新しい いばらきの市町村

市町村数は83から44へ (平成18年4月から)



新市町名	平成16年度に合併した市町村名	合併期日
常陸大宮市	大宮町, 山方町, 美和村, 緒川村, 御前山村	H16.10.16
日立市	日立市, 十王町	H16.11.1
常陸太田市	常陸太田市, 金砂郷町, 水府村, 里美村	H16.12.1
那珂市	那珂町, 瓜連町	H17.1.21
水戸市	水戸市, 内原町	H17.2.1
城里町	常北町, 桂村, 七会村	H17.2.1
坂東市	岩井市, 猿島町	H17.3.22
稲敷市	江戸崎町, 新利根町, 桜川村, 東町	H17.3.22
筑西市	下館市, 関城町, 明野町, 協和町	H17.3.28
かすみがうら市	霞ヶ浦町, 千代田町	H17.3.28
取手市	取手市, 藤代町	H17.3.28

新市名	平成17年度に合併する市町村名	合併期日
神栖市	神栖町, 波崎町	H17.8.1
行方市	麻生町, 北浦町, 玉造町	H17.9.2
古河市	古河市, 総和町, 三和町	H17.9.12
桜川市	岩瀬町, 真壁町, 大和村	H17.10.1
石岡市	石岡市, 八郷町	H17.10.1
鉾田市	旭村, 鉾田町, 大洋村	H17.10.11
常総市	水海道市, 石下町	H18.1.1
下妻市	下妻市, 千代川村	H18.1.1
土浦市	土浦市, 新治村	H18.2.20
笠間市	笠間市, 友部町, 岩間町	H18.3.19
つくばみらい市	伊奈町, 谷和原村	H18.3.27
小美玉市	小川町, 美野里町, 玉里村	H18.3.27

新市名	平成に合併した市町村名	合併期日
水戸市	水戸市, 常澄村	H4.3.3
ひたちなか市	勝田市, 那珂湊市	H6.11.1
鹿嶋市	鹿島町, 大野村	H7.9.1
潮来市	潮来町, 牛堀町	H13.4.1
つくば市	つくば市, 基崎町	H14.11.1

土浦城跡・亀城公園のいま

現在、江戸時代からの建造物としては、本丸表門の櫓門、裏門の霞門、二の丸と外丸の境に移築された旧前川口門があり、復元されたものとしては、東櫓、西櫓の2棟と櫓門と東櫓間などの土塀があります。

復元は明治4年当時の土浦城を目標としているようでありませぬ。

ここでは、写真(平18・3・5撮影)5枚により、亀城公園の一部を紹介します。

メインの櫓門については、表紙(第1頁)の写真(平17・4・10撮影)もご覧ください。なお、テニスコートの跡はプールとなっております。



この二の門のあった場所ではあるが、等覺寺から昭和56年に移築された旧前川口門 写真の左後方はプール



昔からバス停そばにある霞門



平成17年に復元された櫓門の右袖部分と櫓門から東櫓までの間の土塀 写真では見えないが銃眼(狭間)の位置が地面に近すぎるとの意見もある



平成10年に復元された東櫓、素晴らしい木造32坪、建築費は1億8千万といわれ、市立博物館付属展示館となっている



昭和24年のキティ台風で小破、解体後、平成3年に復元された西櫓 写真の左後方は市立博物館

半了のささやき(第1回)

高山寺 半了

百歳まで心身共にかくしゃくと元気に過ごせる魔法の呪文、それが「カキケケコ」。ドレミの歌ではないが、「カは感動の力」、「キは興味のキ」、「クは工夫のク」、「ケは健康のケ」...とここまで分け易いでしょうが、さて「コ」は何でしょうか？

会社で定年の方の送別スピーチではいつも「カキケケコ」を乱発。「カキケケ」までは皆さんウンウンと頷くのですが「コ」になると途端にザワザワしだして大笑いやら異論やら座が急に賑やかになります。「不倫の勧めですか?」とか「今更相手がないよ」とか...もう分りましたね。そうです。「コは恋のコ」です。そして「カキケケコ」は「快老人

生」の呪文、行動原則です。京都大学名誉教授で大脳生理学者の大島清先生が提唱し実践。現在79歳になられますが、自転車を乗り回し次々楽器に挑戦し「快老学」「男の脳、女の脳」等の著作、講演等精力的に活動を続けられています。感動・興味(好奇心)・工夫・健康はどんな本にも書いてあります。が「恋」は意外と少ないですね。そこで今回は中高年(つまり東進会会員)の恋について囁いて見ましょう。

地球上には男と女。オスとメス。おしべとめしべ。それ以外は存在しないんですよ。異性は幾つになつても胸をときめかせ、やる気を起こさせる大事な存在。青春時代には誰しも「ボーイ・ミーツ・ガール!」一目見て感電したように恋に落ちた体験があたりですよ。しかし時を経て熟年になつてあの時の「トキメキ」や「輝き」をお忘れではありませんか。爺ジイ、婆バアと寄つて来る幼い孫にニコニコと頬ずりやキスの雨も結構。昔ほのかな思いを抱いた彼女(彼)は幾つになつても胸キュン。娘(息子)のような若者との習い事、料理でも楽器でも踊りでも結構。何故か輝いている異性とのお出合いがあると、朝シャンや厚化粧(失礼!)をして

いそいそと出かけますね。エアロビのイケメンインストラクターの前で思いつきり脚を上げてる貴女。その瞬間、脳細胞はフル活動。ボケてる暇どころか死んだはずの脳細胞まで復活。そうですよ。幾つになつても異性に胸をときめかす「恋心」は大事ですな。

ご存知日野原重明さん(92歳)や日本最高齢ピアニスト室井摩耶子さん(85歳)、更に「恋は若さを保つ秘訣」にされている森光子さん(85歳)に見習つて素敵な快老人生を過しませんか。又、今年1月に亡くなられた現役スキーヤ三浦敬三さん(101歳)も96歳で82歳の素敵なガールフレンドと出会ったそうです。歌手活動を止め様か悩んでいたシャノン歌手の石井好子さんが、三浦敬三さん出演のNHK「人間ドキュメント96歳の大滑降」を偶然見ていた感動。歌を続けると決心した石井さんが感動を伝えたいと手紙を書いて文通が始まったそうです(三浦敬三著「101歳の少年」。有名人だけではありません。NHKの「百歳バンザイ」では毎週お一人お元気で輝いている百歳の方々が希望を下さいます。

我が東進会の先輩方は皆さん男性も女性も若々しく輝いています。それは間違いなく東進会で素敵な異性とのお出合いがあるからです。マドンナと称する方も何人かいますね。さー、40代、30代のマドンナやイケメン(勿論自称で結構)の皆さん6月の東進会総会に一度来てみませんか。「快老百寿の呪文カキケケコ」に満ち溢れた素敵な先輩と出合い、新しい世界と智慧に触れ、楽しく元気に長生きしませんか。

最後に筆者「半了」の自己紹介。来年60歳の所謂2007年問題児、団塊の世代です。百寿迄の折返し点を過ぎたあたりです。やっとなんか生きて来た(半分終了)のを機にあれこれ思いつく事を囁いてみました。ピートルズの名曲レットイットビーで繰り返される「賢い囁き(ワイズダム・ウイズパー)」とは対極の「愚かな囁き」ですが意外に面白いじゃないかとの評価で次回も囁けるか、逆に引込めブーイングで1回きりで半了が完了になるかは皆さんのご判断下さい。駄文を最後までお付き合い頂き誠に有難う御座いました。

世界一周アスカ紀行(6)

南極クルーズ

昭31年卒 中村信秀

04年アスカ(飛鳥)による3ヶ月間の南極南米ワールドクルーズに参加した。1月7日に横浜を出航し4月7日横浜に帰港する間に南極のクルージングは2月11日、21日の11日間ではないが、やはりこれがメインであって、事実まったく異種世界の体験で予想以上に驚嘆の航海ではあった。

南極は真夏とはいえ流水と白銀の世界で、旅人にとってはそこに生息する目に見える生物たちは南極という動物園に飼い馴らされている様に見えた。南極は、知人よりそのすばらしさは聞いてはいたし、また勧誘を受けた時、大分古い話で斎藤茂吉夫人の南極旅行の話等も思い出された。しかし、その時点ではまったくよそ事として受け止めていたのであったが、たまたまテレビで橋田壽賀子氏が念願の南極旅行にアスカで行くと話しているのを聞いて、我々は念願などはまったく無かったが、何となく参加して見ようかということになった。

今回のワールドクルーズはほぼ6つの海域に分けられる。第1の海域は横浜を出航しニュージーランドまで南下し、次いで北上タヒチからイースター島までの南太平洋の航海。この南下の海域は第2次大戦において日本軍の悲惨の名残りが濃厚なところである。初寄港のミクロネシア連邦チューク島で島の女性たちのコラスによる「海ゆかば」には参った。第2はイースター島からチリ南端ブタレナスまでの南米西海岸とパタゴニア海域。もっぱらチリ沿岸を南下し、パタゴニアのフイヨールドを航海する。第3は本番の南極クルーズで、耐氷船に乗り換えてマゼラン海峡からドレーク海峡を渡り南極半島とその周辺の島々に上陸を繰り返す。第4は南米大西洋

側のアルゼンチン、ブラジルでのタンゴとサンバカーニバル、イグアスの滝を楽しむ。第5はカリブ海の小さな島々、パナマ運河、コスタリカ等の中南米観光。第6はサンフランシスコを基点とした観光と最後はハワイでの静養となっている。

メインの南極はまずチリ最南端の港町ブタレナスでドイツの南極観光船ブレイメン号に乗り変える。ブレイメンは日本製7000トン耐氷船のもっぱら極洋観光専用船で、乗客130人のほとんどはアスカからの客であったが、2組ほど日本から33時間飛行機を乗り継いで参加された方がいた。彼らはやはり疲れからか酔いに苦しまれていたようだ。出航地のブタレナスはパナマ運河が開通する以前マゼラン海峡が主航路であったところに大変栄えた港町である。街の中心の広場にはマゼランがインデアンを征服した象徴の大きな銅像が置かれている。

2月11日20時、まずホーン岬に向けて出航した。航路はマゼラン海峡から西に進路をとりビーグル海峡に入る。翌朝、これからの上陸はもっぱら10人乗りのゾデヤックボートにて行われるので、その乗り降りの説明会があった。午後、ビーグル海峡の沿岸の水辺は唐松風の木々に覆われ、中腹は灰色の岩で、200mほどの山々が連なり、所々より小さな滝が流れ落ちている。遠方には氷河様相の山々が連なり、まさにフイヨールドの地域に侵入しつつあるようだ。しばらくして目の前の苔色の木々と白い岩の岬の向こうに小型のオブライエ氷河が見えてきた。引き続きスペイン、アルマニア、イタリア、オランダと名の付いた大小の氷河が次々と現れる。アルマニア氷河では、オンザロックで乾杯していた時に、海に注ぐ滝の上で大きな崩水が見られたそう、その歓声に誘われて見に行つたときには漣だけが残っていた。

13日深夜2時、船が大きく揺れている。ドレーク海峡に出たらしい。吠えるドレークと

言われるだけ有ってかなりのものだ。早朝5時、前方に島が見えてきた。ホーン岬の島々だ。バルカ、防水ズボン、長靴を着装し7時



耐氷船ブレイメンと上陸用ボート

半よりゾデヤックボートにてホーン岬に上陸。波が引いたときを狙って船員の手助けで浜辺に上陸した。岬は小高い丘で10段ほどの急な木製の階段が12、13回葛折になって丘の頂上までのびている。頂上には監視小屋、記念塔がそれらしく置かれており、観光スポットになっている。この南極の旅には最高齢81歳と82歳の男女が参加しているが勿論この階段を元気に上り下りしていた。

午後、ドレーク海峡横断の航海に乗り出した。南極隊員だった大瀬氏、ドイツのクンツ博士の講演を聞く。海峡は10年に一度の穏やかさで有るとの話ではあったが、終始揺れておりあまり気分は良くない。一夜明けてすでに南極半島の先端にきている。洋上は霧に包まれている。午後1時、船内放送で今夕刻キングジョージ島のロシア基地に上陸との放送

があった。夕食を済ませ7時に装備をかためてボート乗り場で待機していたが、第3ボートまでで濃霧が厳しく危険とのことで急遽中止になった。

15日、今朝は半島先端のサウス・シユトランド諸島のリビングストーン島への上陸が予定されている。まずスカウト隊が調査に出発。8時より上陸開始の放送があり、再度、装備をかためて順番を待つ。家内の袖を引いて前に進もうとして後ろを振り向いたら別な方だった。あわてて周りを見渡したら3列ほど後ろに取り残っていた。あわてて失礼したご婦人にお詫びをしたら、このところ手を引かれたことが無いので大変うれしゅう御座いましたとおどけて下さった。一方上陸のほうは波が荒くデッキが壊れ、または我々の前で急遽中止になった。船はリビングストーン島後にし、デセプション島に向かった。この島は直径20kmほどの丸い島で、中ほどに直径5km程の噴火後のカルデラ内海がある。10時30分ネプチューンズ・ビューロウという湾の入り口の切り立った断崖をかすめるようにして内海に入る。海と風と雪により侵食崩壊された荒々しい赤茶色の小高い山が周囲を廻らしている。浜辺の一区画に高さ10mほどの油槽タンク3基と直径6mほどの油釜2基の残骸がさび腐って放置されている。ここは過去にアメリカの捕鯨の油採りの基地であった。浜辺に温泉が湧き出ており、大きな穴を掘って海水の野天風呂を作り、何人かは水着に着替えて入浴していた。近くの丘の影に10羽ほどのペンギンが風を避けてかたまっていた。近づいても一向に動ずる気配は無い。17時、再度リビングストーン島に上陸を試みると放送があつて部屋で待機していたが、船はゆれが激しくなってきた。18時、上陸中止の連絡があった。

16日7時、左舷に見える半島も右舷の島も雪に覆われている。風は無いがさすがに辺りは厳しい冷気に覆われている。船はゆっくり

と進む。8時15分、半島中ほどのパラダイス湾のアルミランテ・ブラウン基地にペンギンの群れに迎えられ、無事上陸した。辺りにはペンギンの生息の異様な臭気が漂っている。小高い丘の雪溪を登り、海、流水、雪溪の山々の景色を堪能した。その帰途、流水で埋めつくされた湾内をボートでクルージングをし、鵜の営巣地、流水上で寝そべっているアザラシ、ボートの10m直近を並走するミンククジラ等を1時間ほど楽しんだ。午後、今回の旅の最南端ピーターマン島に向かう。途中2艘の観光船に出会った。ここは南極観光の銀座であるようだ。15時30分霧が深くなり雪も降り視界が100mほどである。16時15分沖合い2kmに投錨停泊し、直ちにピーターマン島の雪の積もった岩場の上陸を開始した。直ぐ脇の岩場にはゼンツーペンギンの営巣地があり、その奥の丘にはアデリーペンギンの生息地がある。異様な匂いはするが新雪が全体を覆い景色は大変美しい。夕刻6時半にビュッフェにて氷河の水でウイスキーのオンザロックをどうぞとの放送があった。一番乗りと思いきや、すでに氷の解けるプチプチの音を楽しみながら大いに盛り上がりつつあった。21時半、窓に目を映すとまだ外は明るく、明日は目の前のウインケ島のボートロックロイに上陸するため船は鎖を降ろし完全に静止している。

17日7時、晴れ間が広がってきた。切り立った山々と雪屏、大きな氷山ときらきら光る海、朝日で周囲一面鮮やかに白く輝いている。この清しさを大いに感じながら、8時半より上陸を開始する。ボートロックロイは英国の基地跡で記念室と記念品売り場がある。この小屋の周りはゼンツーペンギンの営巣地で匂いがすごくとても長居は出来ない。記念の絵葉書と切手を買ってそこに引き上げた。舟ではまだ後続の上陸艇が準備中であった。たまたま少々目のご不自由な知り合いのご婦人がデッキに居り、まだ一度も怖くて出掛けないとの事。ここまで来たのだから是非勇気を出してと、強引に急遽身支度を手伝い、これから出掛ける知り合いのご夫妻に支援を頼み送り出した。午後予定のクーパービル島上陸は予定航路の半島と島の海峡が氷山で塞がっており、戻って反対水路から進入することとなったため、流水で寝転ぶアザラシや潮



クーパービル島沿岸

これから出掛ける知り合いのご夫妻に支援を頼み送り出した。午後予定のクーパービル島上陸は予定航路の半島と島の海峡が氷山で塞がっており、戻って反対水路から進入することとなったため、流水で寝転ぶアザラシや潮と連なっている。今朝アストロラブ島に上陸の予定であったが、島に新雪が積もり上陸が出来なくなった。急遽流水海のクルージングに変更になった。ゾデヤックボートで先のクンツ女史が特別ガイドとなり島の周囲をクルージングした。大層詳しい説明で面白さは倍加した。山の岩肌が雪の薄化粧をしている以外は真っ白の世界で、海面には白や空色の氷山が高々と浮かんでいる。ヒョウアザラシがボートにまつわりついてくる。小高い切り立った山々、所所の急な斜面にひげペンギンの営巣地が点在し、山の頂上には姫鵜が群棲している。遠くの丘にはオットセイが頭をもたげている。空には盗賊カゴメが悠然と飛んでいる。ブレーメン号は正午、大きな氷山が飛び石のように点在し、氷山の海道といわれているブランズフィールド海峡をホープ湾に向けて航行し、その変化に富んだ景観を飽きず楽しませてくれた。16時アルゼンチンのエスペランサ基地に上陸。ここは学校、郵便局、教会、宿舎等30棟ほどあり、家族ずれで越冬もしている。



ミンククジラと遊ぶ

19日7時半、最後の大陸で半島先端のサウス・シュートランド群島のアイチヨ島に上陸する。小さな島で100mほどの丘が3つあり、全体がペンギンの大営巣地の様相だ。丘の中腹には苔が群棲している。雪も氷も無い浜辺ではペンギン達が海水浴を楽しんでいる。連に手を浸してみたらとても冷たかった。これで南極の旅は終わった。10時半ブレーメン号は錨を上げ、南米大陸最南端の港町ウシュワイヤアに向け出発した。相変わらずドレーク海峡は荒れ模様で何と無く気持ちが悪い。隣のご夫妻は晚餐をスキップするといってきた。夜6時半キャップテン主催のウエルフェアパーティーがあり、クルーたちが合唱やらソロで数々の海の歌を披露してくれた。

20日朝、ドレーク海峡は容赦なく吠えている。昨夜で寝た家内はまだ熟睡しており、ベッドが前後で交互に浮き沈みしている。朝食はとてめだめだ。夜半ホーン岬を過ぎた辺りから揺れはまったく無くなった。

21日9時、ウシュワイヤアに入港。ここは昔ホーン岬周りの補給基地として栄えたが、いまは南極観光旅行の基地となっている。町を囲むように連立する1500mほどの山々には夏とはいえ中腹から上に厚い残雪があり、山裾の町にうっすらと朝霧がたなびく。えも言われぬ素晴らしい景色だ。下船後、空港に直行しチャーター便でブエノスアイレスまで3時間半。その間、眼下の寒帯のパタゴニア地帯から亜熱帯パンパまでの広大な緑の光景を十二分に楽しんだ。ブエノスアイレスではホテルで久しぶりにゆったりりと浴槽に浸かり11日間の垢を落とした。夜9時、タンゴシヨの老舗エル・ヴィエヨ・アルマセンに繰り出した。狭い劇場にギッシリと詰め込まれ、タンゴの歌と踊をこれでもかこれでもかとガンガンとやられたのはまいった。はねて深夜1時にホテルに帰りテレビをひねったら、タンゴ専門チャンネルで、見覚えのある日本の若いバンドネオン奏者率いる楽団が盛んに演奏をしており、観客にたいそう褒め称えられていた。

平成18年度の大学進学状況

有力大学大幅減

土浦一高の平成18年度の大学進学状況は左表のとおりである。
今年度の特徴は、東京大が21名と低迷したことである。ここ数年、公立高で岡崎高校や浦和高校と全国一、二位を争っていたが、現役では昨年度と同じ15名ながら、総数で21名と最近の低下傾向をはっきりさせる結果となった。因みに、昨年度1位だった岡崎高は8

名増36名の断トツの1位、宇都宮高が7名増28名、愛知・一宮高が10名増28名、富山・中部高が倍増の14名増27名、岐阜高が5割増23名、岡山・朝日高が昨年同の22名と続き、土浦一高の21名は、高岡高、鶴丸高と並んで公立高7位(全体の35位)である。
昨年は京都大や医科系へ流れたということもあり今年も医科系が5名増えているが、筑波大、東工大、一橋大や私立の早稲田大、慶応大も低減の傾向が見られ、その代わりに千葉大、大阪大、明治大が増えている。進学指

導部の話では、今年の土浦一高への合格者の上位の多数が併願していた東京の開成高や筑付高へ流れた。つくばEXの影響があるという。しかし、大学進学とEXは関係なく、東京近郊の浦和高が11名減の16名で公立校13位に転落したのと同様、都心の地価低落による都心回帰の影響であろう。私立でも昨年の上位校が大幅減の中、地方の高校が大幅に増加させたのはなぜか、今年から受験科目に入った英語のヒアリングとの関係はないのかも、是非知りたいところである。

平成15年度～18年度大学合格状況

入試年度 大学	平成15年		平成16年		平成17年		平成18年	
	全体	新卒	全体	新卒	全体	新卒	全体	新卒
北海道大	4	3	6	1	1	1	7	4
東北大	32	20	23	13	29	21	22	16
茨城大	5	4	9	8	11	8	9	9
筑波大	44	32	49	37	46	38	38	29
千葉大	11	6	10	7	10	5	16	9
お茶の水女子	3	3	4	3	5	2	6	4
東京大	32	22	29	20	26	15	21	15
東京外語大	1	1	3	2	4	3	4	4
東工大	12	7	15	7	7	6	5	3
一橋大	5	4	9	6	11	7	4	2
横浜国立	8	3	3	3	9	6		
京都大	4	1	3	1	7	6	4	1
大阪大	3	1	2	1	2	1	7	4
神戸大	1	1			1		1	1
その他	32	15	34	13	30	16	27	14
国立大計	197	123	199	122	199	135	171	115
県立医療	2	2	2	2	2	2		
首都大東京	2		3		6	6	5	4
その他	5	4	9	6	6	3	7	2
公立大計	9	6	14	8	14	11	12	6
国公立大計	206	129	213	130	213	146	183	121
防衛医科			1	1	1			
その他	4	2	3					
大学校計 (医学部)	4	2	4	1	1			
	10	2	18	5	16	11	21	10
入試年度 大学	平成15年		平成16年		平成17年		平成18年	
	全体	新卒	全体	新卒	全体	新卒	全体	新卒
青山学院大	16	6	12	9	16	10	12	10
学習院大	8	5	11	8	17	10	8	7
慶応大	51	27	76	33	61	31	51	26
国際基督教大	3	2	2	2	3	2	4	1
上智大	19	18	37	16	15	5	17	12
中央大	32	15	36	11	65	31	39	24
津田塾大	10	8	10	8	9	4	4	4
東京女子大	13	6	11	7	14	9	7	6
日本女子大	14	8	11	4	13	8	5	4
東京理科大	113	46	95	40	93	45	106	48
法政大	34	16	20	11	23	6	21	13
明治大	46	18	49	20	71	33	74	40
立教大	38	22	39	20	31	17	38	23
早稲田大	99	57	144	68	96	60	84	46
その他	191	56	165	55	180	92	192	71
私立大計	687	310	718	312	707	363	662	335
総計	900	441	935	443	921	509	845	456

編集後記

本年2月中旬に配布された進修同窓会報62号(平18・1・1)に掲載された東進会・大野会長の記事は、その人柄・経歴などがよく表現されており、これをそのまま掲載したいところですが、これは在校生向けなので、改めて会長にインタビューを行い、本号に掲載しました。

平成の市町村合併は一段落し、茨城の地名も相当な変化がありました。この時期に東京事務所から渡邊氏(中45回)を経て、A4判1枚にまとめられた資料を入手できましたので、転載させていただきました。

東進のPDF化について、前号は試行段階でしたが、本号では編集初期からこれを意識して実行したので、頁罫・段罫なども包含でき移行をほぼ終わりました。

沼里氏(高10回)が担当しているホームページへの記載分は、カラー版で拡大も容易でありますので、その環境にある皆様方の利活用をおすすめします。

今回も多くの会員の皆様方からのご寄稿、諸資料・諸情報の提供をたまり有り難うございました。今後もよろしくお願ひします。なかでも、高山寺(東進向けペンネーム)氏からの「半了のささやき」シリーズは、マンネリで堅くなりがちな東進に新風をもたらすものと確信しております。

平成18年度東進会総会においては、皆様方と、お会いできるのを楽しみにしております。

次号32号の発行は、10月末を予定しております。